

(Summary Translation)

Official Gazette of Japanese Utility Model Registration No. 3092080

Utility Model Registration No.: 3092080
Filing date: November 27, 2002
Utility Model Application No.: 5094/2002
Filing date: August 13, 2002
Applicant: Takara Co., Ltd.

Title of the Invention: Tops and Play Board for Tops

Abstract: The present relates to a play board for a game played by spinning tops. The play board is so constructed as to allow tops to move in an unexpected direction.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3092080号
(U3092080)

(45) 発行日 平成15年2月28日 (2003. 2. 28)

(24) 登録日 平成14年11月27日 (2002. 11. 27)

(51) Int.Cl.⁷

A 6 3 H 1/00

識別記号

F I

A 6 3 H 1/00

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2002-5094 (U2002-5094)

(22) 出願日 平成14年8月13日 (2002. 8. 13)

(73) 実用新案権者 000132998

株式会社タカラ

東京都葛飾区青戸4丁目19番16号

(72) 考案者 佐藤 秀

東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会
社タカラ内

(74) 代理人 100074918

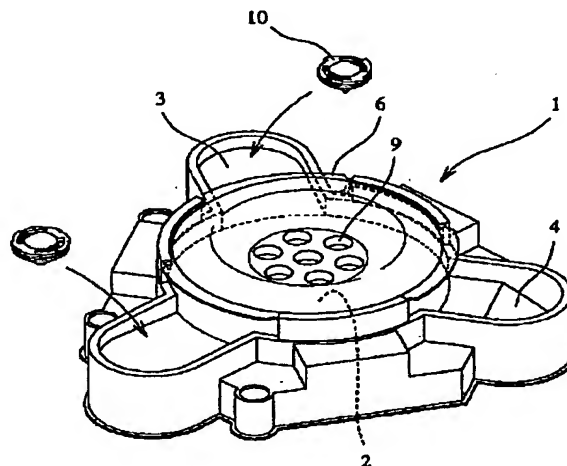
弁理士 瀬川 幹夫

(54) 【考案の名称】 コマ玩具とコマ玩具遊戯盤

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 コマ玩具が思いがけない方向に動くようにすることができるコマ玩具遊戯盤を提供する。

【解決手段】 コマ玩具遊戯盤1は、中央部を周辺部よりも低くした断面円弧状の遊戯台2を有し、上記周辺部の少なくとも2箇所から外方に高くなるように連続するスロープ3が形成されている。更に、遊戯台2の上部には、透光性を有する覆い覆いかバー6が着脱自在に設けられ、覆いかバー6には磁石8を保持可能な複数の凹部9が形成され、コマ玩具10には、磁石又は磁性体を取り付けられている。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 以下の要件を備えたことを特徴とするコマ玩具とコマ玩具遊戲盤。

(イ) コマ玩具遊戲盤は、中央部を周辺部よりも低くした断面円弧状の遊戲台を有すること

(ロ) 上記周辺部の少なくとも2箇所から外方に高くなるように連続するスロープが形成されていること

(ハ) 上記遊戲台の上部には、透光性を有する覆いカバーが着脱自在に設けられ、該覆いカバーには磁石を保持可能な複数の凹部が形成されていること

(ニ) 上記遊戲台と覆いカバーとの間には、コマ玩具が回転可能なスペースが形成されていること

(ホ) コマ玩具には、磁石又は磁性体に取り付けられていること

【請求項2】 以下の要件を備えたことを特徴とする、請求項1記載のコマ玩具とコマ玩具遊戲盤。

(イ) 前記遊戲台の下部には、補助盤が着脱可能に設けられていること

(ロ) 上記補助盤の上面には、磁石を保持可能な複数の*

2

* 凹部が形成されていること

【請求項3】 前記コマ玩具は複数の部材を層状に組み立てたものである、請求項1記載のコマ玩具遊戲盤。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案に係るコマ玩具遊戲盤の斜視図

【図2】 上記遊戲盤の分解図

【図3】 上記遊戲盤の平面図

【図4】 コマ玩具の分解斜視図

【図5】 上記遊戲盤の縦断面図

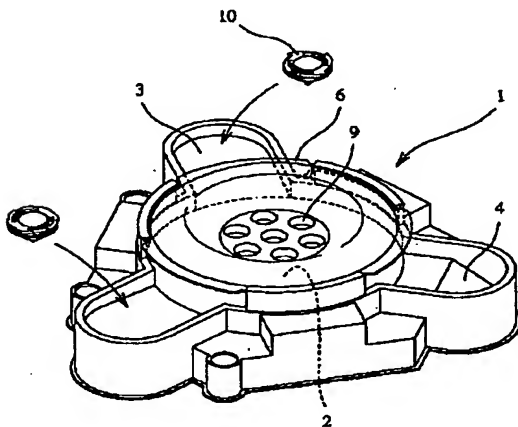
10 【図6】 上記遊戲盤と補助盤とを示す分解図

【図7】 上記遊戲盤の縦断面図

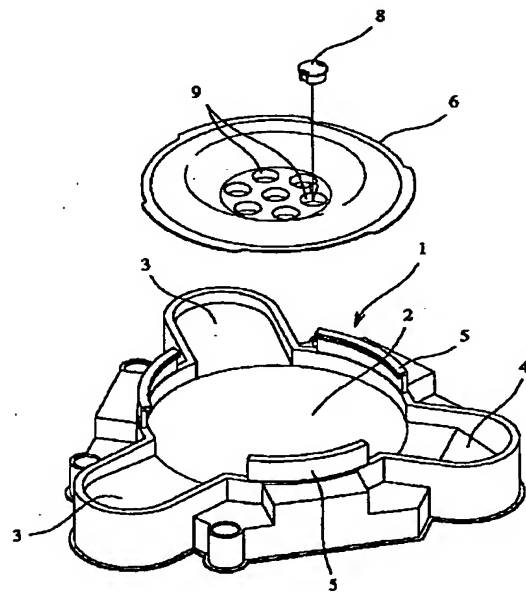
【符号の説明】

- 1 遊戲盤
- 2 遊戲台
- 3 スロープ
- 6 覆いカバー
- 8 磁石
- 9 凹部
- 10 コマ玩具

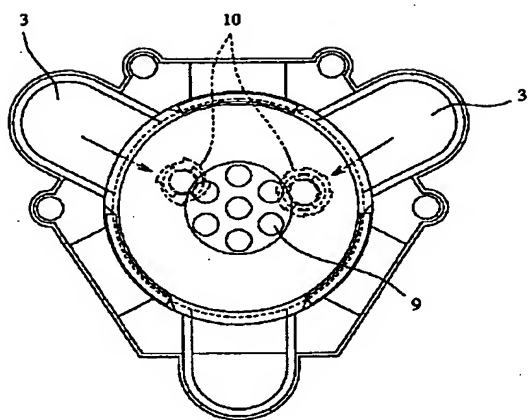
【図1】



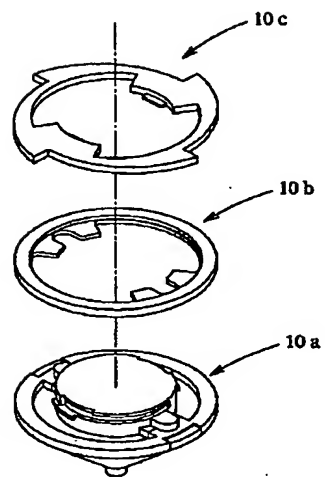
【図2】



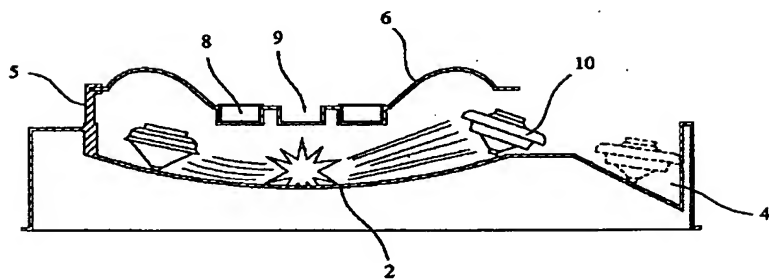
【図3】



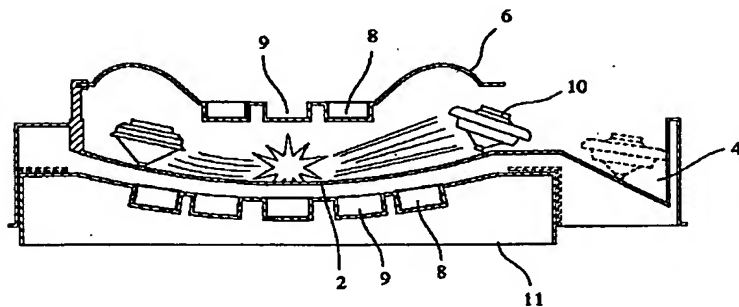
【図4】



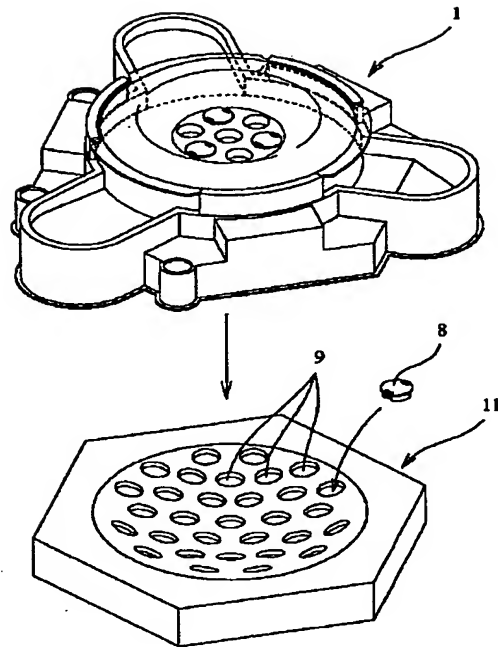
【図5】



【図7】



【図6】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案はコマ玩具を回転させて遊ぶためのコマ玩具遊戯盤に関する。

【0002】

【従来技術とその問題点】

一般に、この種のコマ玩具遊戯盤としては、中央部を周辺部よりも低くして断面円弧状に形成されたものが知られている。このような遊戯盤に2つのコマ玩具を回転させて放つと、中央部が低く形成されているから、両コマ玩具は中央部に移動していき、ついには衝突する。その結果、一方のコマ玩具が倒れるか、あるいは衝突時に弾き飛ばされて遊戯盤から転落することによって勝負を決めるコマ玩具遊びをすることができる。

【0003】

しかしながら、コマ玩具が遊戯盤の周辺部から中央部に自然の重力に従って移動するということは、それぞれのコマ玩具の動きを予想することができる。このため、面白みに欠け、あきやすいという欠点があった。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

本考案は上記問題点を解消し、コマ玩具が思いがけない方向に動くようにすることができるコマ玩具遊戯盤を提供することをその課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するため、本考案に係るコマ玩具とコマ玩具遊戯盤は、以下の要件を備えたことを特徴とする。

(イ) コマ玩具遊戯盤は、中央部を周辺部よりも低くした断面円弧状の遊戯台を有すること

(ロ) 上記周辺部の少なくとも2箇所から外方に高くなるように連続するスロープが形成されていること

(ハ) 上記遊戯台の上部には、透光性を有する覆いカバーが着脱自在に設けられ

、該覆いカバーには磁石を保持可能な複数の凹部が形成されていること

(ニ) 上記遊戯台と覆いカバーとの間には、コマ玩具が回転可能なスペースが形成されていること

(ホ) コマ玩具には、磁石又は磁性体に取り付けられていること

【0006】

上記遊戯盤は、さらに以下の要件を備えるように構成してもよい。

(イ) 前記遊戯台の下部には、補助盤が着脱可能に設けられていること

(ロ) 上記補助盤の上面には、磁石を保持可能な複数の凹部が形成されていること

【0007】

また、前記コマ玩具は複数の部材を層状に組み立てたものであるのが好ましい。

【0008】

【考案の実施の形態】

図1～図3において符号1は遊戯盤を示す。この遊戯盤1は中央の遊戯台2とその中心から放射状に突出した2個のスロープ3と1個のリングアウト溝4とから構成されている。

【0009】

遊戯台2は、中央部を周辺部よりも低くなるように断面円弧状に形成されている。

【0010】

また、遊戯台2の周辺部には突壁5が形成され、突壁5には3箇所の切欠きが形成され、該切欠きから外方に高くなるように上記遊戯台2に連続する2個のスロープ3が形成されている。なお、スロープ3は2個に限定されない。リングアウト溝4は遊戯台2よりも低くなるように形成されている。

【0011】

次に、上記遊戯台2の上部には、覆いカバー6が着脱自在に設けられている。該覆いカバー6は、透光性を有し、反対側が透けて見えるようになっているとともに、該覆いカバー6には磁石8を保持可能な7個の（7個に限定されない）凹

部9が形成されている。磁石8は適宜の凹部9に選択的に保持することができる。

【0012】

なお、上記遊戯台2の上部を覆いカバー6で覆ったとき、遊戯台2と覆いカバー6との間には、少なくともコマ玩具が回転できる程度のスペースが確保されている。

【0013】

上記遊戯台2に使用されるコマ玩具10には、磁石又は磁性体に取り付けられている。このようなコマ玩具10は、図4に示されるように、複数の部材10a、10b、10cを層状に組み立てたものであるこのコマ玩具10は、最下層の下層部材10aと、下層部材10aの上部に配置された中層部材10bと、中層部材10bの上部に配置された上層部材10cとから構成されている。中層部材10bは金属製の重錘である。下層部材10aの中央には回転軸が形成されている。上層部材10cと下層部材10aはともに合成樹脂製である。重錘10bの採用により、コマ玩具10の回転力は強く、安定性も増す。

【0014】

なお、上記のような多層構造のコマ玩具10の基本的構成は公知であり、組み立て、分解も公知のとおりでよい。コマ玩具10は3個以上の層部材によって3層以上に構成してもよい。各層の部材を交換することにより、複雑な回転特性を得ることができる。

【0015】

ところで、上記重錘10bは中央に穴があいた円形状の板体によって構成され、相対する角部間の距離は上層部材10cと下層部材10aの直径よりも大きくなるように形成されている。したがって、少なくともその外周面の一部又は全部は、上記層部材のなかで最も外側に突出するようにするのが好ましい。

【0016】

上記重錘10bは磁石又は磁性体によって形成されている。したがって、磁石のときは重錘10bの上側と下側とではN極とS極とが反対になる。

【0017】

次に、上記構成の遊戯台2の使用態様について説明する。まず、遊戯台2単独で使用するときは、2人又は3人がそれぞれのコマ玩具10を図示しない回転駆動手段によって回転させ、スロープ3の内側に落としこむ。これにより、コマ玩具10は回転しながらスロープ3の傾斜にしたがって遊戯台2の中央部に移動していく。そして、最終的にはコマ玩具10同士は互いに衝突するので、あるものは回転が衰えて倒れてしまい、あるものは遊戯台2の外のリングアウト溝4に弾かれてしまう。最後まで回転を続けたものが勝ちとなる。

【0018】

次に、覆いカバー6を使用するときは、上記遊戯台2の上に覆いカバー6をセットし、適当な凹部9に磁石8を入れて保持させる。この状態で上述のように、2人又は3人がそれぞれのコマ玩具10を図示しない回転駆動手段によって回転させ、スロープ3の内側に落としこむ。これにより、コマ玩具10は回転しながらスロープ3の傾斜にしたがって遊戯台2の中央部に移動していく。ところが、図5に示されるように、コマ玩具10の磁石又は磁性体と覆いカバー6の磁石8との間で磁力が作用するから、コマ玩具10には高い位置から低い位置に移動しようとする力と磁気吸引力が複雑に作用することになる。その結果、コマ玩具10の移動も複雑なルートをたどることになる。したがって、コマ玩具10の移動を予想することはできないから、思いがけないゲーム結果を招く可能性がある。磁石8を置く凹部9を任意に変えることによりさらにコマ玩具10の移動のバリエーションが追加される。

【0019】

次に、上記遊戯台2の下部には、図6に示されるような補助盤11を着脱可能に設けるようにしてもよい。この補助盤11は、遊戯台2を載置できる程度の上面部を有し、その上面には、磁石8を保持可能な複数の凹部9が形成されている。この凹部9と磁石8は遊戯台2の凹部9と磁石8と同じである必要はない。なお、補助盤11と遊戯台2とはほぼ重なるように設定するのが好ましい。

【0020】

さらに、適宜の凹部9に磁石8を保持させた補助盤11の上に遊戯盤1を載置すると、コマ玩具10の磁石8又は磁性体には、図7に示されるように、覆いカ

バー6の磁石8と補助盤11の磁石8の磁力が作用する。下部の磁石8の位置は外部からは見ることができないので、磁力の影響は外部からは全く窺い知ることができない。従って、コマ玩具10の移動はほとんど予想できないものになる。

【0021】

【考案の効果】

請求項1に係る考案によれば、複数のコマ玩具を回転させてスロープの内側に落としこむ。これにより、コマ玩具は回転しながらスロープの傾斜にしたがって遊戯台の中央部に移動していく。ところが、コマ玩具の磁石又は磁性体と覆いかバーの凹部に保持された磁石との間で磁力が作用するから、コマ玩具には高い位置から低い位置に移動しようとする力と磁気吸引力が複雑に作用することになる。その結果、コマ玩具の移動も複雑なルートをたどることになる。したがって、コマ玩具の移動を予想することはできないから、思いがけないゲーム結果を招く可能性がある。磁石を置く凹部を変えることによりさらにコマ玩具の移動のバリエーションが追加される。

【0022】

請求項2に係る考案によれば、適宜の凹部に磁石を保持させた補助盤の上に遊戯盤を載置すると、コマ玩具の磁石又は磁性体と補助盤の磁石との間で磁力が作用する。下部の磁石の位置は外部からは見ることができないので、磁力の影響は外部からは全く窺い知ることができない。従って、コマ玩具の移動はほとんど予想できないものになる。

【0023】

請求項3に係る考案によれば、前記コマ玩具は複数の部材を層状に組み立てたものであるから、磁性体又は磁石や部材を交換することにより回転特性を変えることができる。